

# 平成26年度第1回中国・四国ブロックエイズ 治療拠点病院等連絡協議会

## 中国・四国ブロックのエイズ対策の実施状況に ついて(歯科)

平成26年8月29日

広島大学大学院医歯薬保健学研究院  
歯周病態学研究室  
柴 秀樹

# 中国四国ブロックにおけるエイズ対策(歯科)

## HIV歯科医療体制の構築

## HIV感染に対する基礎知識の普及

①ライフスタイルに合わせて、かつ安心して  
歯科診療を受けることができる体制

②口腔の健康の維持・増進

③HIV感染症の早期発見・拡大予防

# HIV感染症の慢性化による歯科治療内容の変化

ART導入前 → 不治の病

- ・口腔カンジダ症
- ・カポジ肉腫
- ・HIV関連歯周疾患 など  
(壊死性潰瘍性歯周炎)

AIDSによる(HIV感染に伴う)  
口腔症状への治療が主体

ART導入後 → 慢性化

- ・一般歯科治療
- ・口腔衛生管理(う蝕・歯周疾患の予防)

多くのHIV陽性者はライフスタイルに合わせた  
地域の歯科医院の受診を希望している

# HIV感染症の慢性化による歯科治療内容の変化



多くのHIV陽性者はライフスタイルに合わせた地域の  
歯科医院の受診を希望するようになった。



地域歯科医院におけるHIV陽性者の歯科診療体制は  
不十分である

歯科医療機関におけるHIV感染者等の診療体制について(依頼)  
(医政歯発 第0506001号、健疾発第0506001号)

(平成17年5月6日 厚生労働省医政局歯科保健課長から)

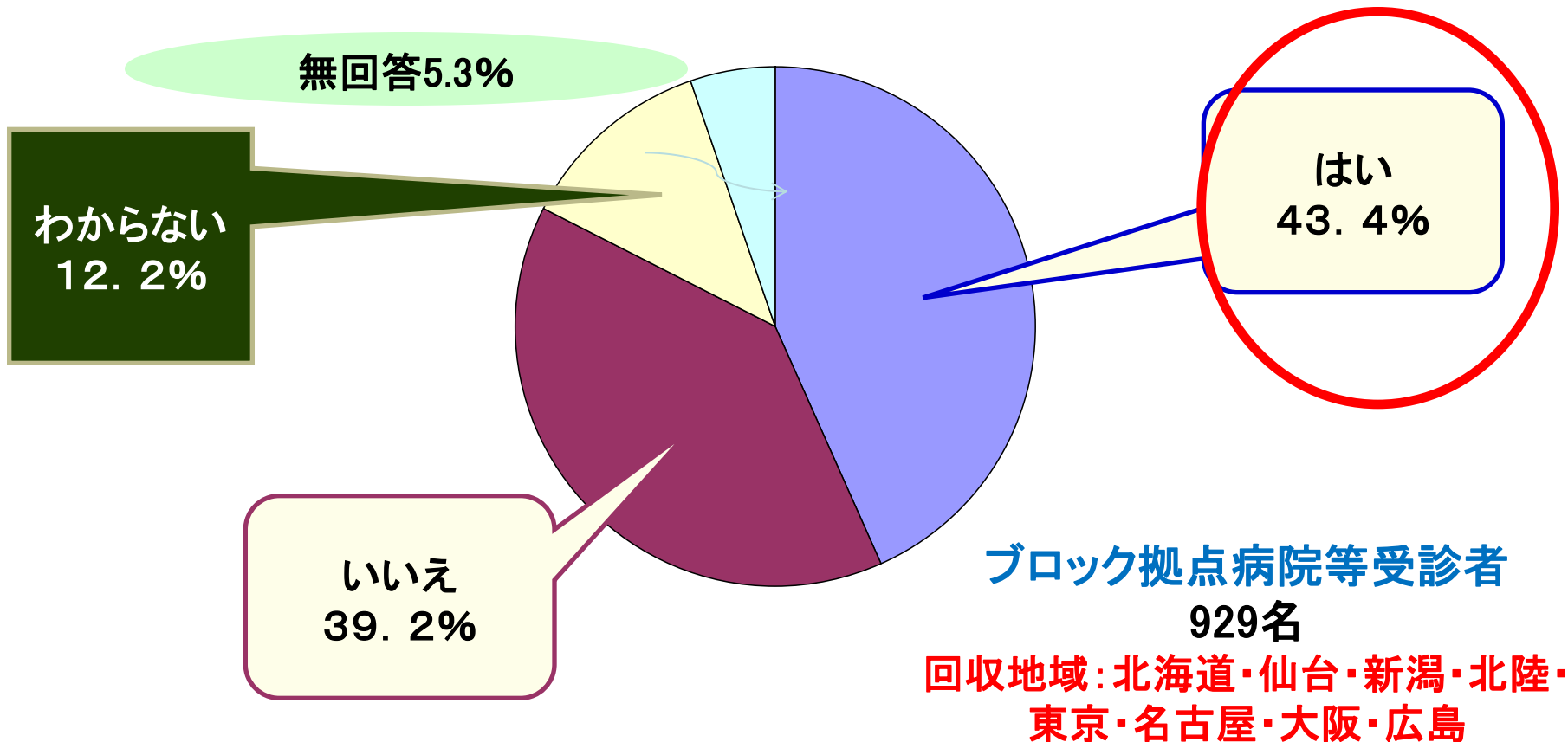
HIV陽性者等の診療を断る歯科医院の存在が明らかになったことから、このような事例が出ることを無きように、HIV感染症についての正しい理解を図り、適切な感染防止策を講じることによって、HIV陽性者に対する歯科診療体制の確保が必要

エイズ予防指針作業班報告書(平成23年9月14日)

受診拒否の問題、診療体制構築の必要性

# HIV陽性者の歯科診療実態アンケート調査

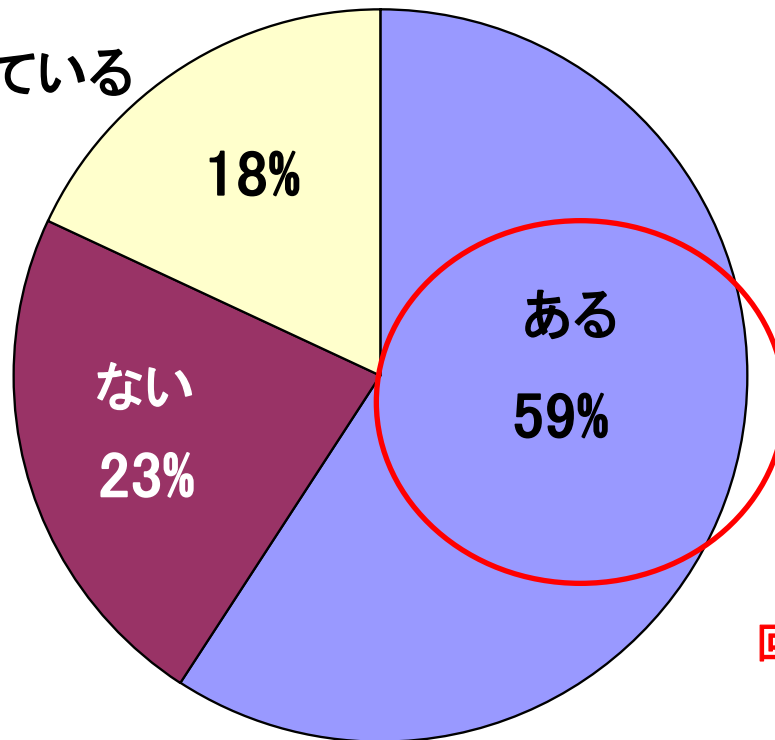
HIVに感染したと思われる機会があったから、感染が判明するまでの間に、歯科治療を受けていたことがありますか？



平成20年度厚生労働省エイズ対策研究事業 HIV感染症の医療体制の整備に関する研究 歯科のHIV診療体制整備、前田憲昭他

感染が明らかになってから、歯科を受診しましたか？

現在受診を考えている



ブロック拠点病院等受診者

929名

回収地域：北海道・仙台・新潟・北陸・東京・名古屋・大阪・広島

# 感染が明らかになってから通院している歯科は？

ブロック拠点病院等受診者

929名

回収地域: 北海道・仙台・新潟・北陸・東京・  
名古屋・大阪・広島

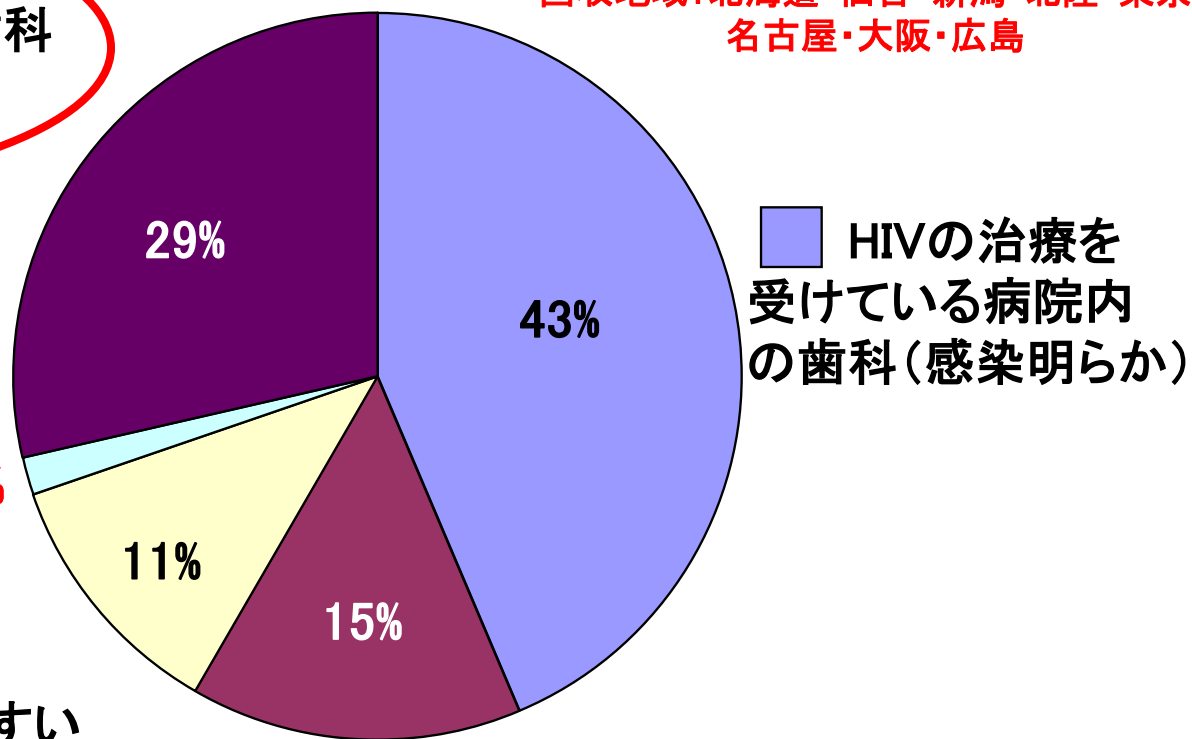
■ 自分にとって通いやすい歯科  
(感染を明らかにしないで)

約30% 感染を明らかに  
しないで歯科受診

■ HIVの治療を受けている  
病院から紹介された歯科  
(感染を明らかにしないで) 2%

■ 自分にとって通いやすい  
歯科(感染が明らか)

■ HIVの治療を受けている病院から  
紹介された歯科(紹介状: 感染明らか)



# HIV陽性者の歯科診療実態アンケート調査

HIVに感染したと思われる機会があつてから、感染が判明するまでの間に、口腔内に何か症状を感じたことがありましたか？

はい: 142名

全回答者(929名)の15.3%

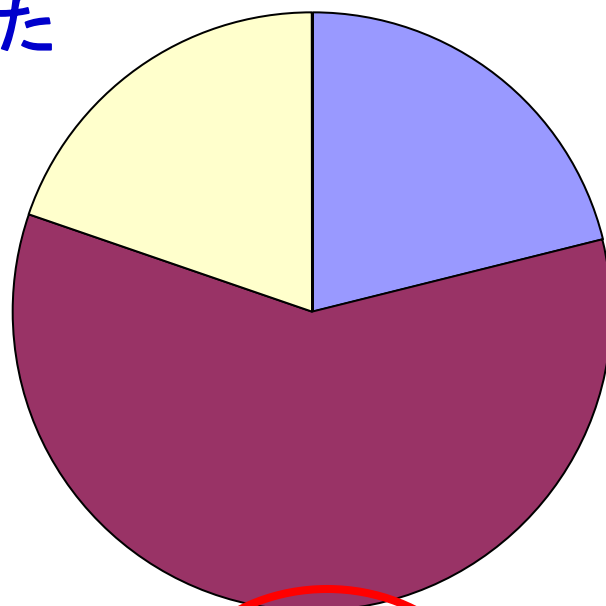
例えば

- |            |     |
|------------|-----|
| ・口腔内が白くなった | 25名 |
| ・出血し易くなった  | 4名  |
| ・口内炎が良くできた | 8名  |
| ・喉が痛かった    | 3名  |
| ・味覚の異常     | 3名  |



# 口腔内の症状の治療はどこで受けましたか？

そのまま様子を見た  
20%



内科 21%

歯科  
59%

平成20年度厚生労働省エイズ対策研究事業 HIV感染症の医療体制の整備に関する研究 歯科のHIV診療体制整備、前田憲昭他

# HIV感染者の歯科治療はなぜ困難か

## 歯科医療側

- ・ 感染対策ができていない  
費用、時間の問題
- ・ スタッフの協力が得られない、風評被害  
HIVの病態に対する知識不足

## 患者側

- ・ HIV感染を告げることで  
拒否される
- ・ HIV感染を告げない  
外科的処置に対する不安  
医療従事者への感染の不安

# 歯科受診で感染症を告げる意義

## 患者側

- ・歯科診療の内容に反映する意味がある場合
- ・服薬の相互作用、相乗作用に関する情報
- ・口腔症状の早期発見 副作用の発現

## 歯科医療側

- ・十分な準備が可能
- ・標準予防策
- ・標準予防策で対応できない問題  
手袋は針刺し事故を守れない: 暴露源への対応

# HIV歯科医療体制の構築、ネットワークが 求められる理由

- ・患者は日常の生活圏で(患者のライフスタイルに合わせて)、安全な治療を希望している。
  - ・ART療法などの普及によってHIV感染はコントロール可能な慢性疾患であるといわれるようになった。口腔衛生状態(管理)は患者のQOL向上に貢献できる。
- ・患者のプライバシーに配慮しながら、診療に必要な情報が共有できる。診療に対する不安を除くことが可能になる。
- ・職業上の曝露事故が生じた場合、迅速で適切な対応が可能になる。

# HIV歯科診療ネットワークが構築されている都道府県

HIV陽性者を地域の歯科医院に紹介（HIV陽性者が地域の歯科医院を受診）する場合

## 都道府県単位のネットワーク

東京都：東京都福祉保健局健康安全 感染症対策科に問い合わせる。

神奈川県：神奈川県保健福祉部 健康増進課 エイズ・感染症対策班あるいは  
神奈川県歯科医師会 事業課 第一係 に問い合わせる。

北海道：北海道HIV/AIDS歯科医療連絡協議会が北海道からの委託事業として、  
北海道HIV歯科医療ネットワーク構築事業を実施  
エイズ治療拠点病院が、患者の通院希望地などの情報を元に歯科医療機関  
を紹介

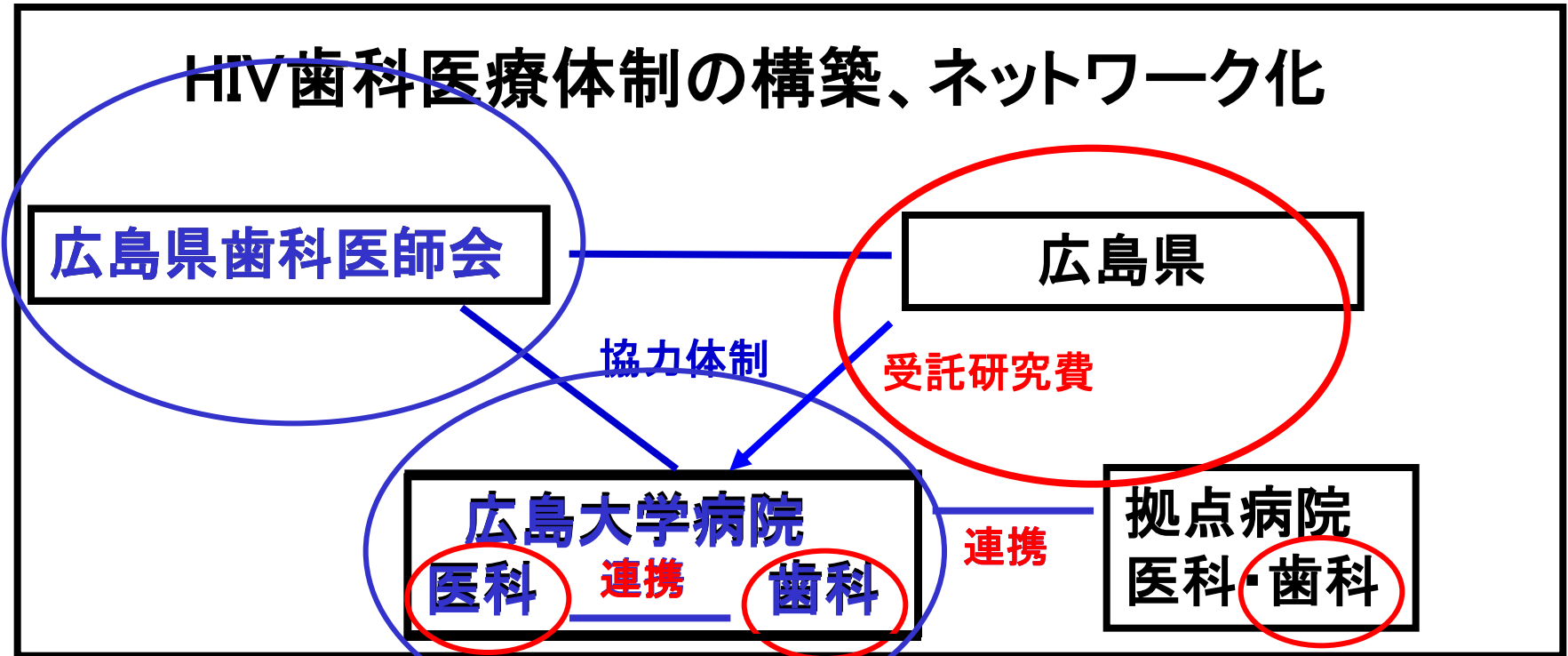
広島県：広島県歯科医師会の事務局に問い合わせれば、地域の歯科医院を紹介可能。  
歯科医師会から県内の拠点病院へ紹介方法についての通知が送られている。  
広島県歯科医師会は、独自に広島県HIV歯科診療ネットワーク室を設立した。

大阪府：大阪府歯科医師会が中心となってネットワーク構築

# 中国四国ブロック拠点病院である広島大学病院の取り組み

平成22年度から病院のエイズ医療対策室の活動として行なっている  
(病院内の医科・歯科連携)

HIVに対する正しい知識の普及と感染予防策の実践のため、  
広島県歯科医師会の会員・準会員への講習会 (広島大学病院と広島県歯科医師会の共催)



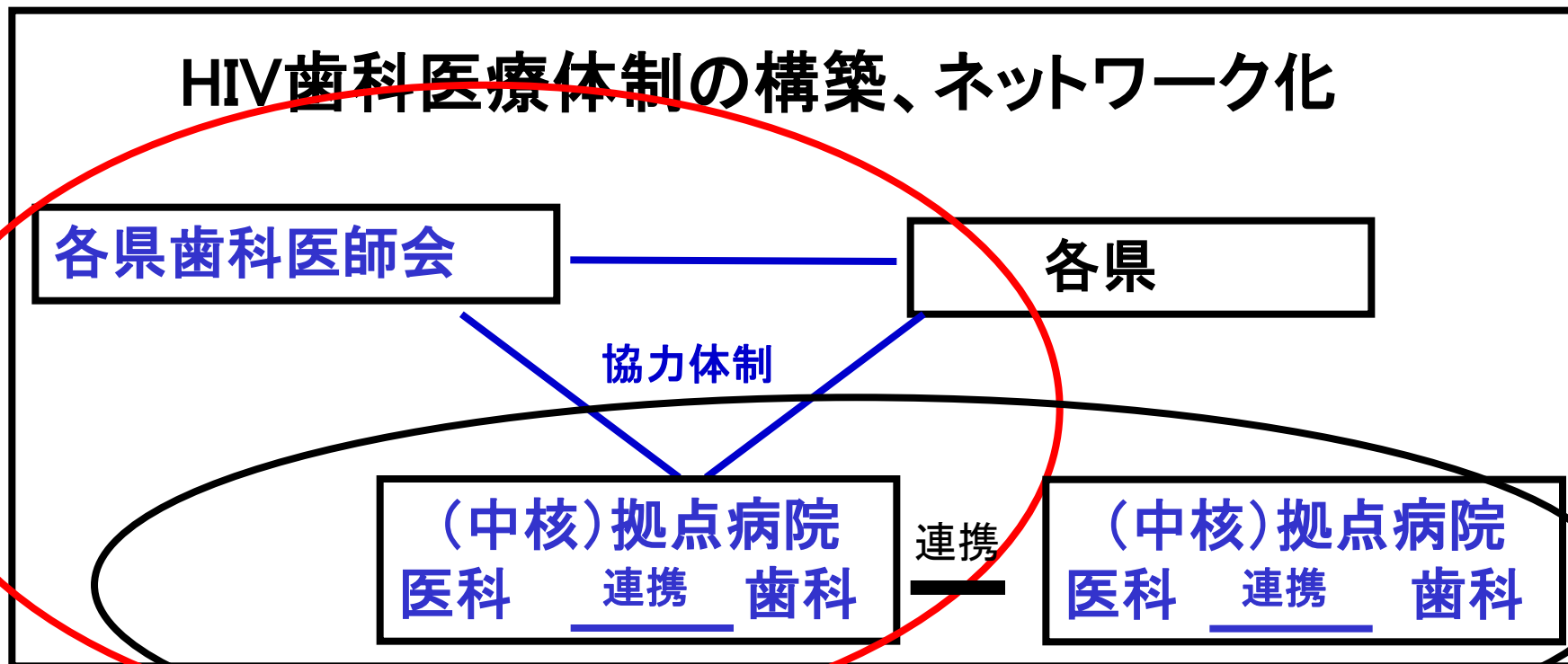
中国四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議

# 第4回中国四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議

平成25年11月17日(日) 広島大学歯学部6講義室

中国四国の各拠点病院の歯科(口腔外科)から歯科医師1名及び歯科衛生士または看護師1名(計2名)の参加依頼

第4回からは、中国四国各県の歯科医師会会長殿がご推薦される1~2名の歯科医師の会議への参加を依頼



**第4回中国四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議**  
2013年11月17日(日) 広島大学 歯学部B棟 6講義室

中国・四国ブロックの拠点病院の歯科(口腔外科)、22 施設が参加  
(広島大学病院は含まない)

広島県:2施設	岡山県:5施設	山口県:1施設	鳥取県:3施設
島根県:4施設	愛媛県:2施設	徳島県:1施設	香川県:2施設
高知県:2施設			

さらに、中国・四国各県の歯科医師会から理事が参加  
5つの歯科医師会が参加

中国地方:山口県(理事1名)、広島県(専務理事1名、常任委員2名)、島根県(理事1名)  
四国地方:愛媛県(理事2名)、徳島県(理事1名)

岡山県、鳥取県、香川県、高知県からの参加はなし

・参加者:50名(歯科医師:33名、歯科衛生士:17名)



《第4回中国四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議日程表》  
(平成25年11月17日(日) 広島大学 歯学部B棟 6講義室)

9:30～9:40開会の挨拶

藤井輝久(広島大学病院 エイズ医療対策室長)

9:40～10:50講演1「HIV感染症の現状と展望」

照屋 勝治先生 (国立国際医療研究センター病院 エイズ治療研究開発センター)

11:00～12:00講演2「北海道HIV/AIDS歯科医療ネットワーク構築事業の概要」

佐藤 淳先生 (北海道大学大学院歯学研究科 助教)

13:00～13:30話題提供「病院外の歯科開業医とのネットワーク構築について  
—九州医療センター歯科口腔外科での取り組み—」

吉川 博政先生 (国立病院機構九州医療センター 歯科口腔外科)

13:40～15:00会議

議題「中国四国ブロックにおけるHIV陽性者の歯科医療体制構築について」

司会:栗原 英見 (広島大学病院 主席副病院長)

15:00～15:10閉会の挨拶

栗原 英見(広島大学病院 主席副病院長)

## これまでの成果・今後の動き

- 各地域の(中核)拠点病院歯科間の連携の促進
- 各拠点病院の歯科医療従事者の知識のアップデート
- HIV陽性者の歯科医療体制構築への取り組みのための情報提供とネットワーク構築の促進
  - 鳥取県(鳥取大学医学部口腔顎顔面病態外科学 教授 領家和男先生を中心)
  - ・鳥取県HIV感染者診療ネットワーク評議会が開催(H23.8.4)

開催のきっかけの一つとして

- ・中国四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築の研究会議への参加

2010年12月19日(日) 於: 広島大学

- ・第1回広島県歯科医師会の会員・準会員のためのHIV感染症に関する講習会への参加

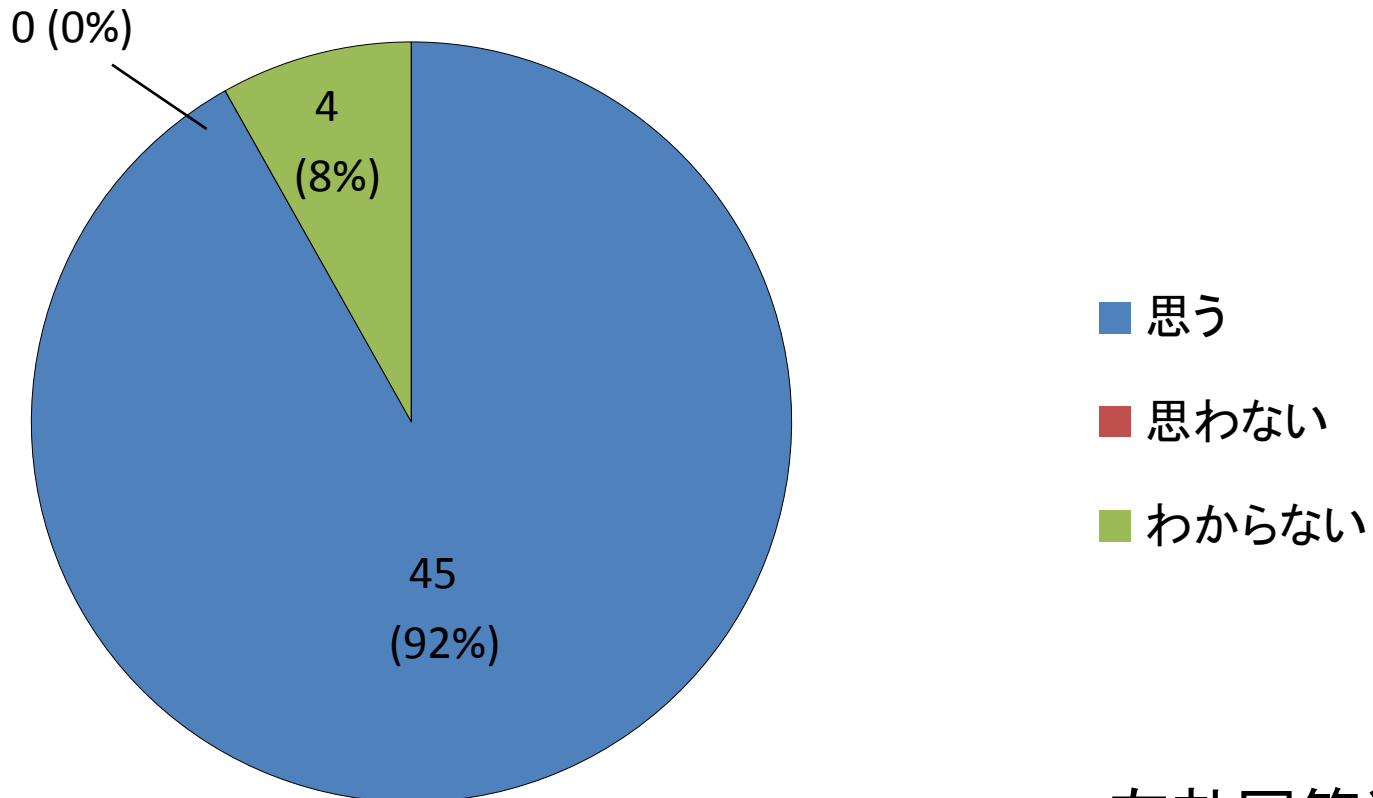
2011年 2月 6日(日) 於: 広島大学

これまで、講習会(研修会)を4回行なっている(情報の提供)

- ・徳島県、徳島県、徳島県歯科医師会、徳島県医師会、徳島大学の関係者が集まり、構築にむけての第1回会議が開催された(ネットワーク構築に向けての準備段階)。

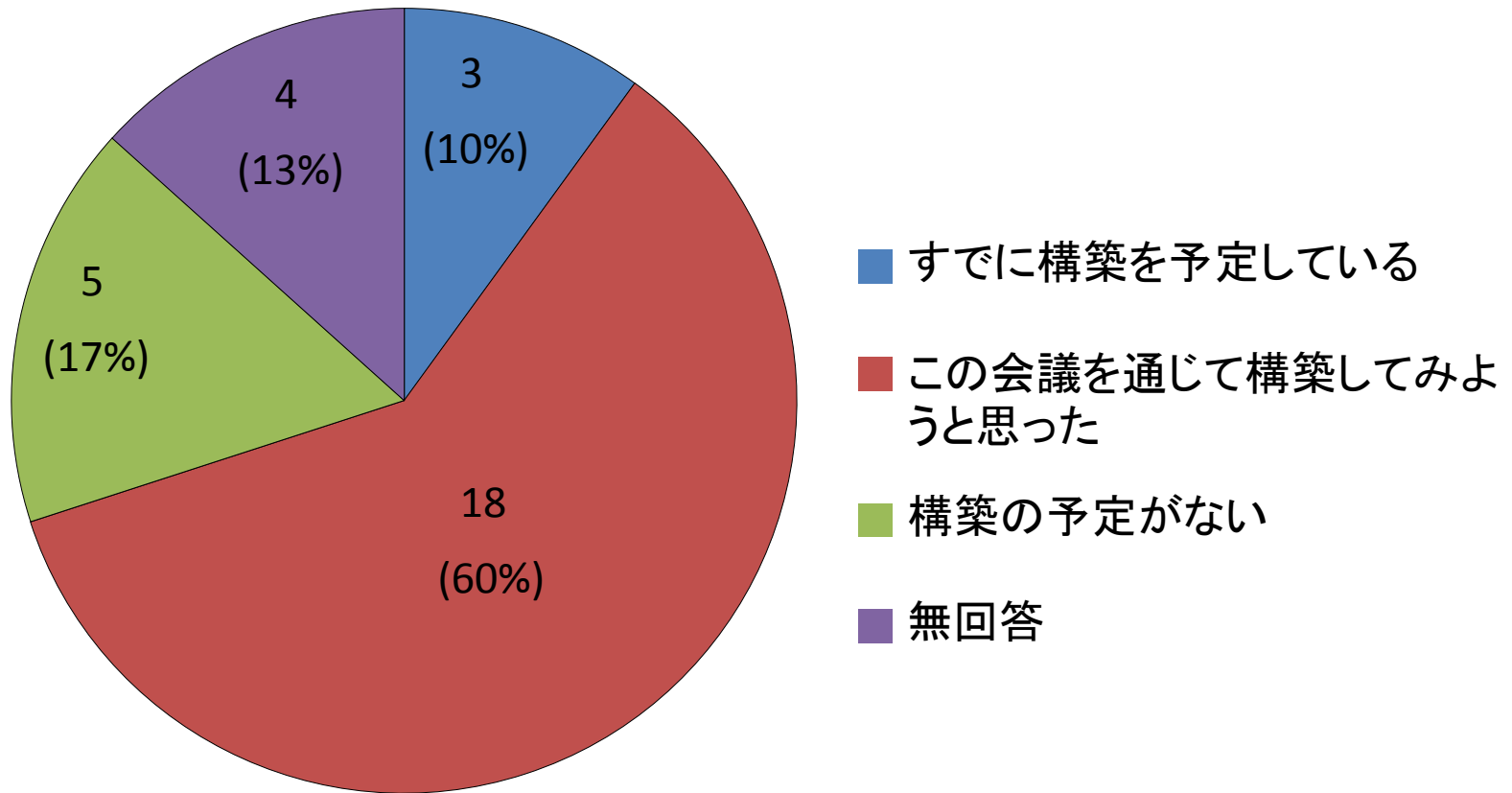
Q:

この研究会議はHIV陽性者の歯科診療体制構築にとって役立つと思いますか



有効回答数: 49

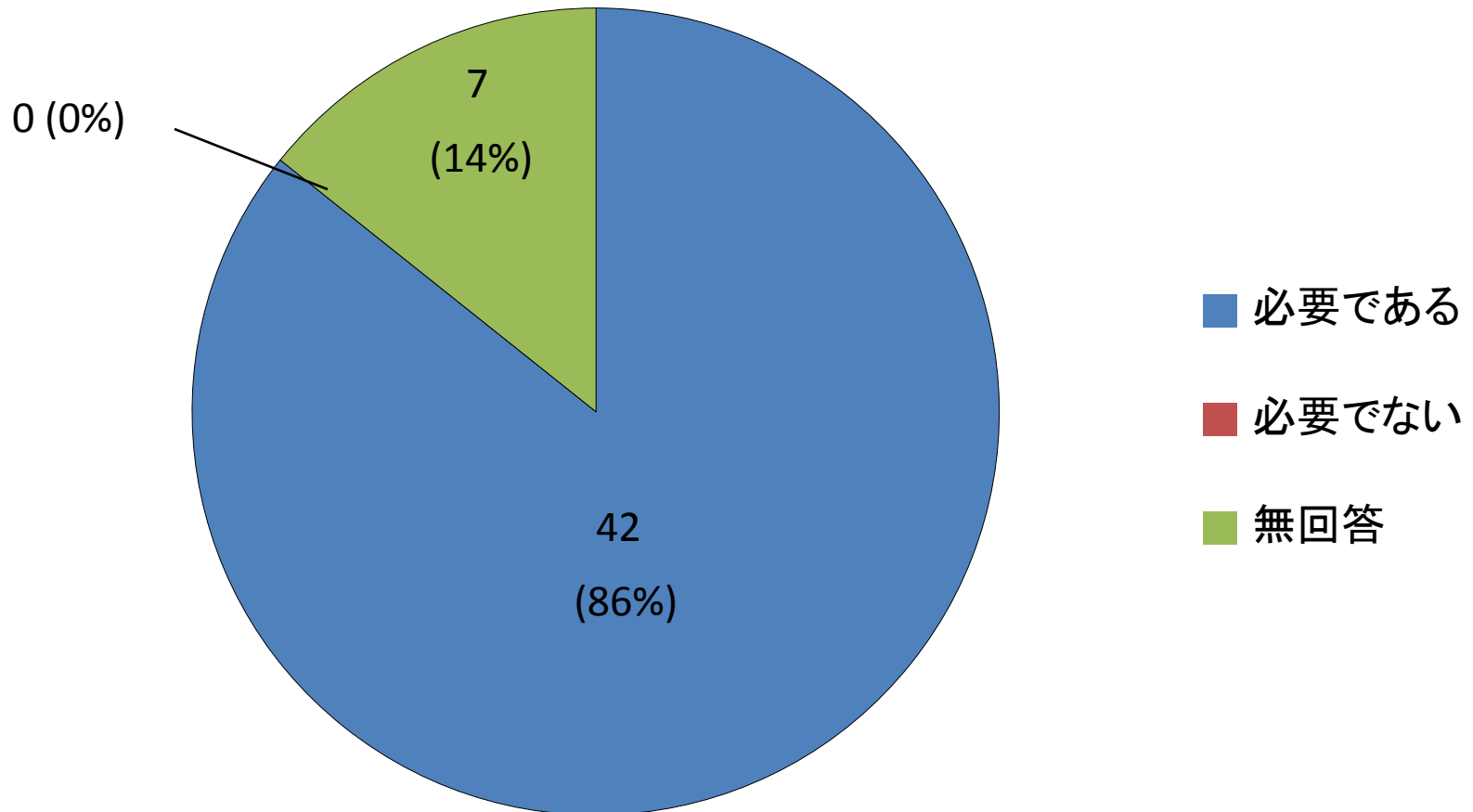
# Q: HIV陽性者の歯科診療体制構築の予定は ありますか



有効回答数: 30

Q:

HIV陽性者の歯科診療体制には、県の歯科医師会と拠点病院との連携が必要ですか？



有効回答数： 49

# 広島県歯科医師会の会員・準会員のためのHIV感染症に関する 講習会

(HIVに対する正しい知識の普及と感染予防策の実践のため)

- 第1回 平成22年2月6日(日)  
広島大学病院 歯学部大講義室(歯科外来棟6階)
- 第2回 平成23年11月27日(日)  
広島大学 医学部第4講義室
- 第3回 平成24年12月2日(日)  
まなびの館ローズコム4階 中会議室(福山市)
- 第4回 平成25年12月1日(日)  
ビュー・ポートくれ きんろうプラザ 大会議室(呉市)
- 第5回 平成26年11月30日(日曜日)  
三 ROI ヤルホテル (三次市)

実際、各地区での講習会の後、広島県歯科医師会のHIV歯科診療ネットワーク  
協力歯科医院数が増加した。

**平成25年度広島県歯科医師会の会員・準会員のための  
HIV感染症に関する講習会日程表  
平成25年12月1日(日)  
ビュー・ポートくれ きんろうプラザ 大会議室**

広島県歯科医師会からの参加者(2013年、12月1日)  
歯科医師： 23 名、歯科衛生士：5名

合計 : 28名

《平成25年度広島県歯科医師会の会員・準会員のための  
HIV感染症に関する講習会日程表》

平成25年12月1日(日)

ビュー・ポートくれ きんろうプラザ 大会議室

13:00～13:10 開会の挨拶 (広島大学病院 主席副病院長 栗原 英見)

13:10～14:30 講演①「HIV感染症の概要」

講師;国立病院機構九州医療センター 免疫感染症科  
南 留美 先生

14:30～14:45 休憩

14:45～15:15 講演②「血液曝露後の対応」

講師;広島大学病院 輸血部 齊藤 誠司

15:15～15:30 休憩

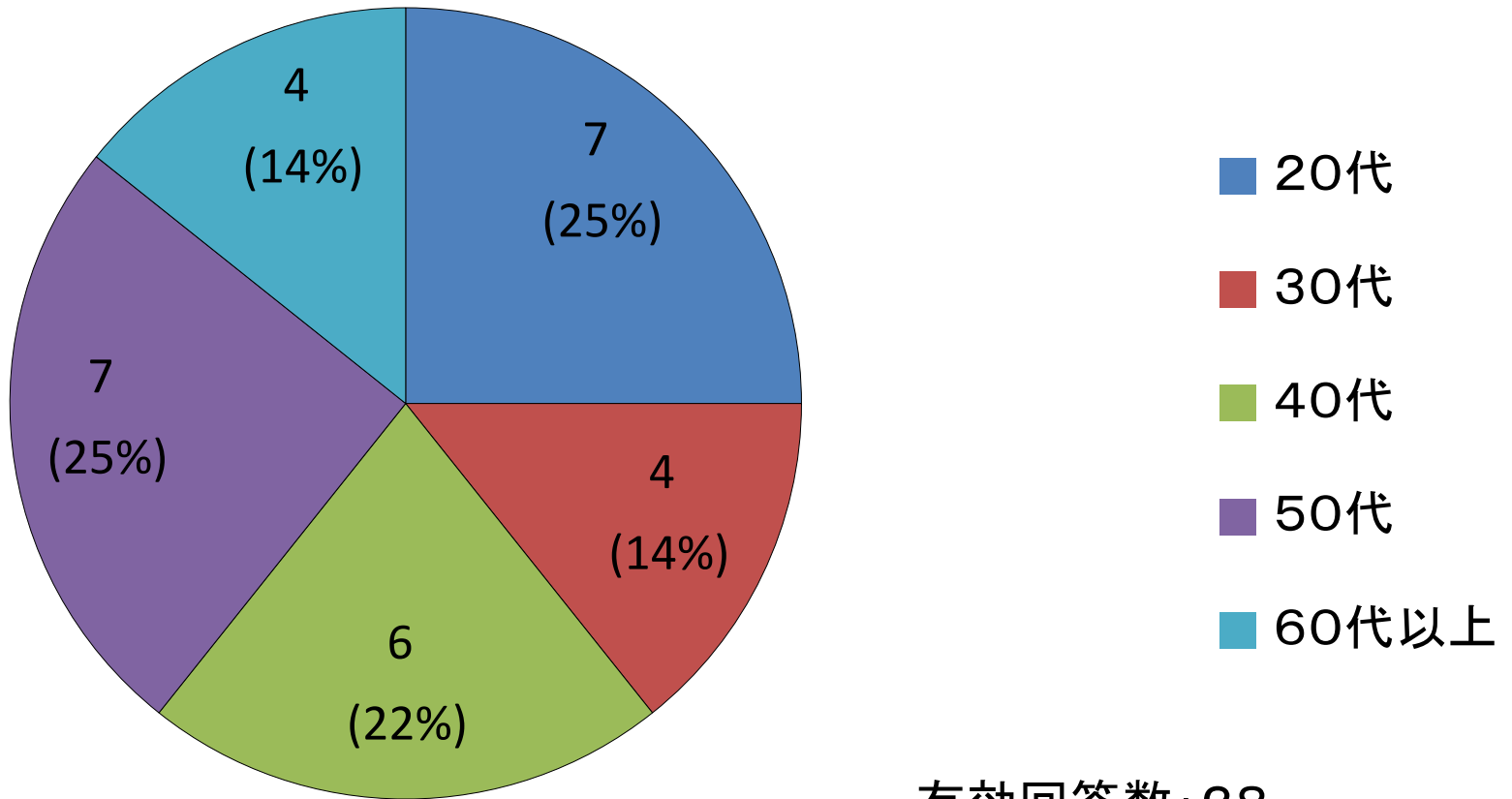
15:30～16:50 講演③「歯科医療従事者のためのHIV感染症の話」

講師;国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科  
宇佐美 雄司 先生

16:50～17:00 閉会の挨拶(広島県歯科医師会 専務理事 三反田 孝)

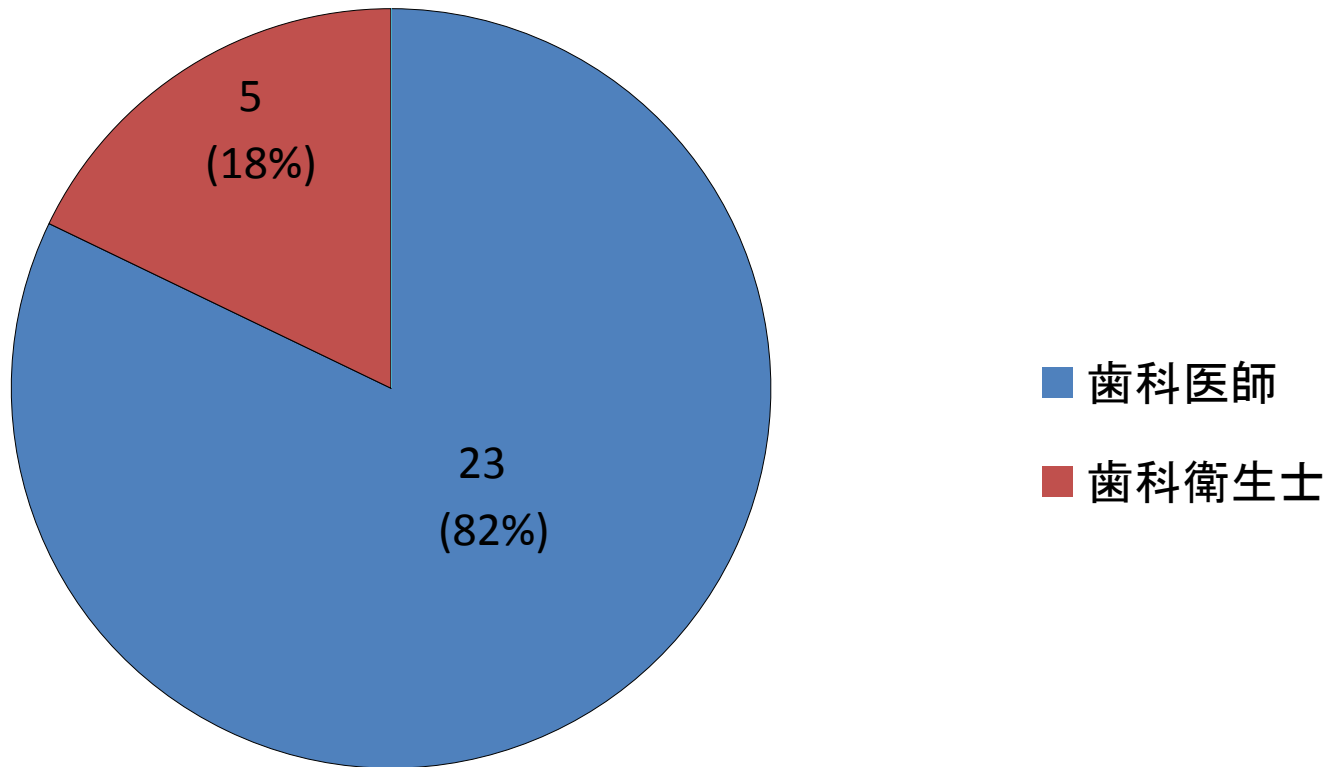


# Q: 年齡



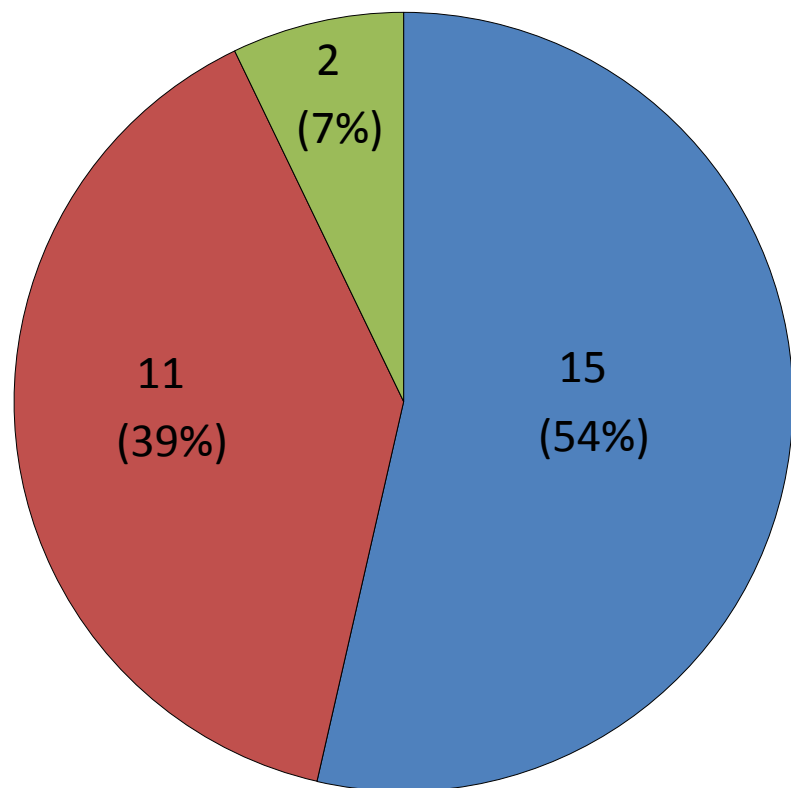
有効回答数: 28

# Q: 職種



有効回答数: 28

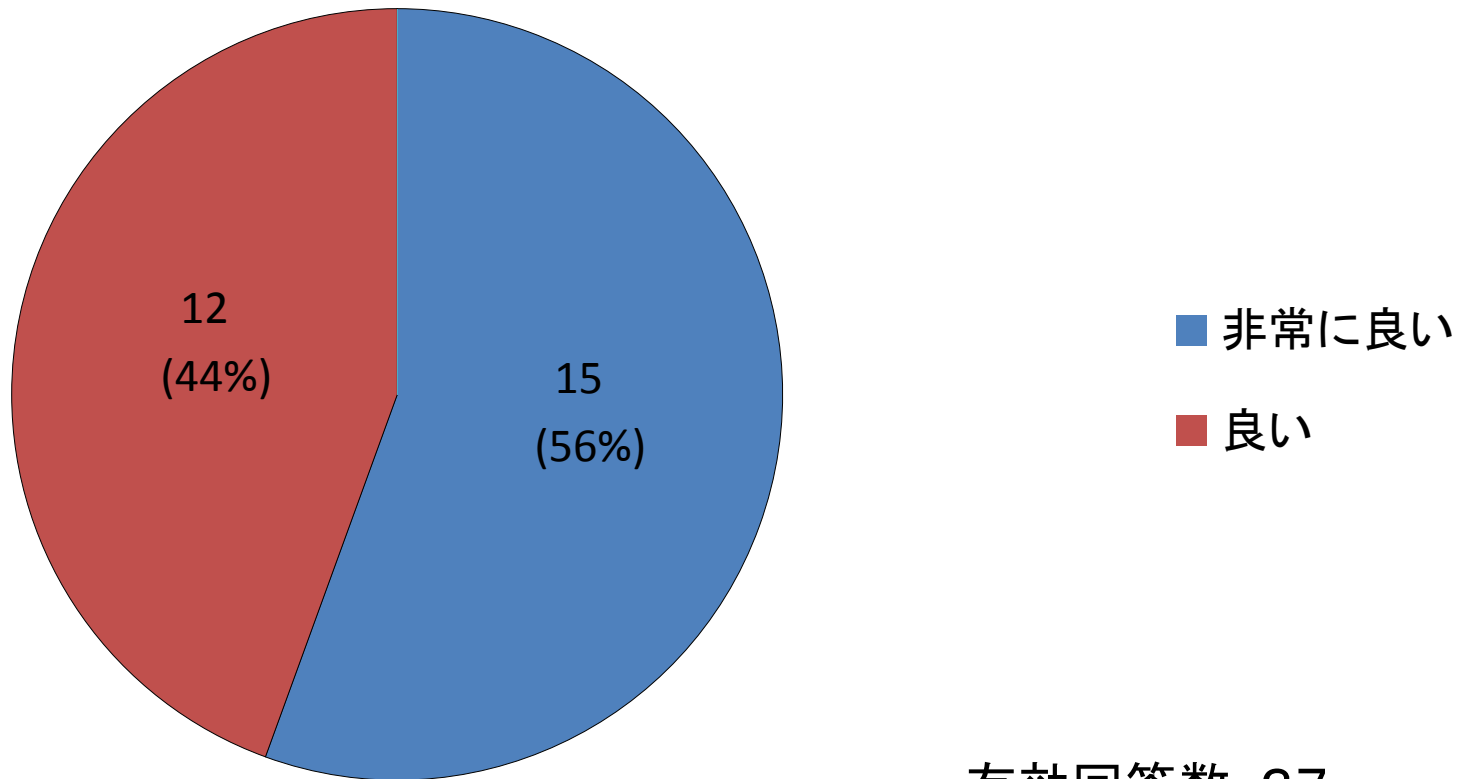
# Q: 勤務先



- 広島県歯科医師会会員  
(自身)の歯科医院
- 総合病院の歯科・口腔外科
- その他

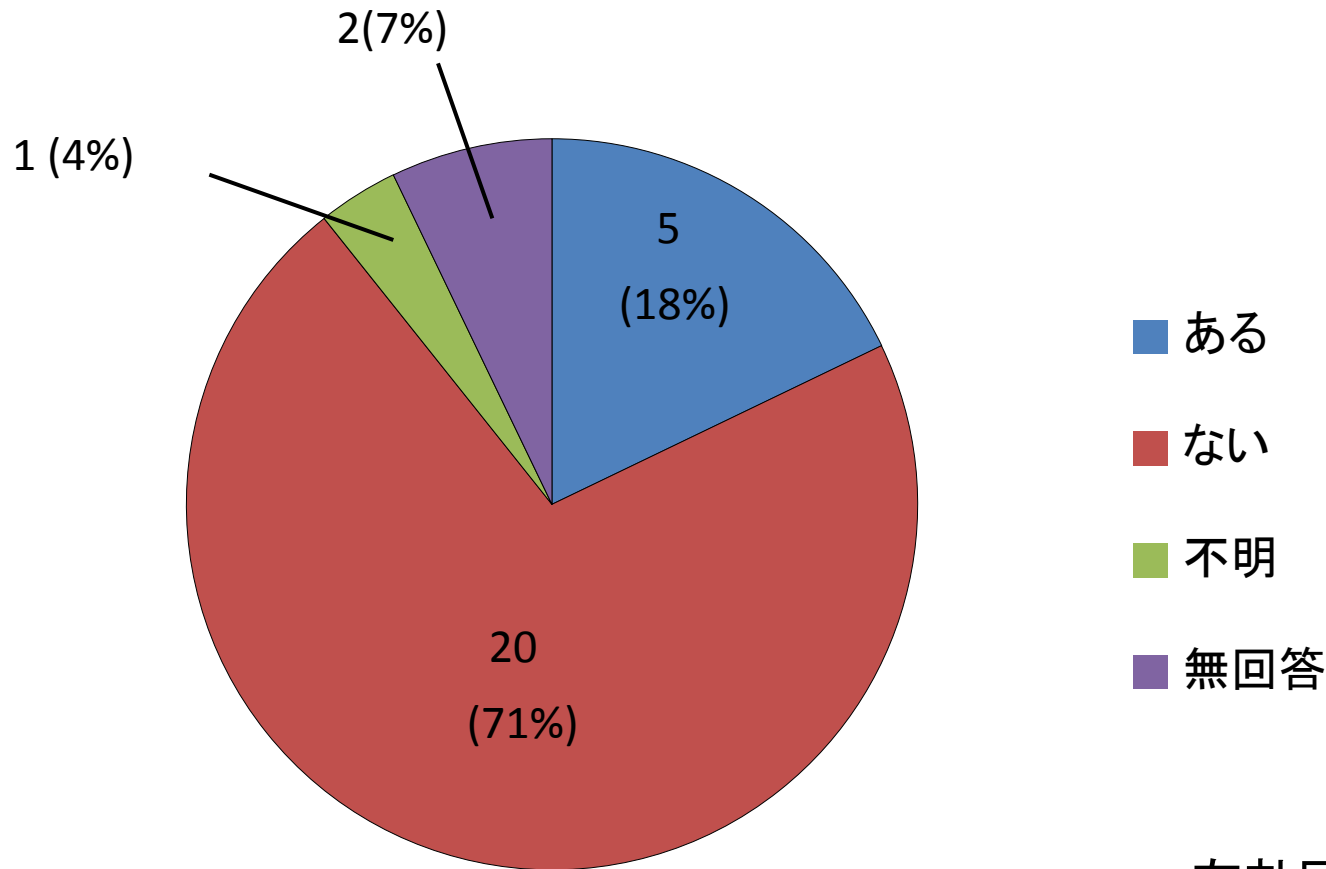
有効回答数: 28

# Q: 講習会全体の印象



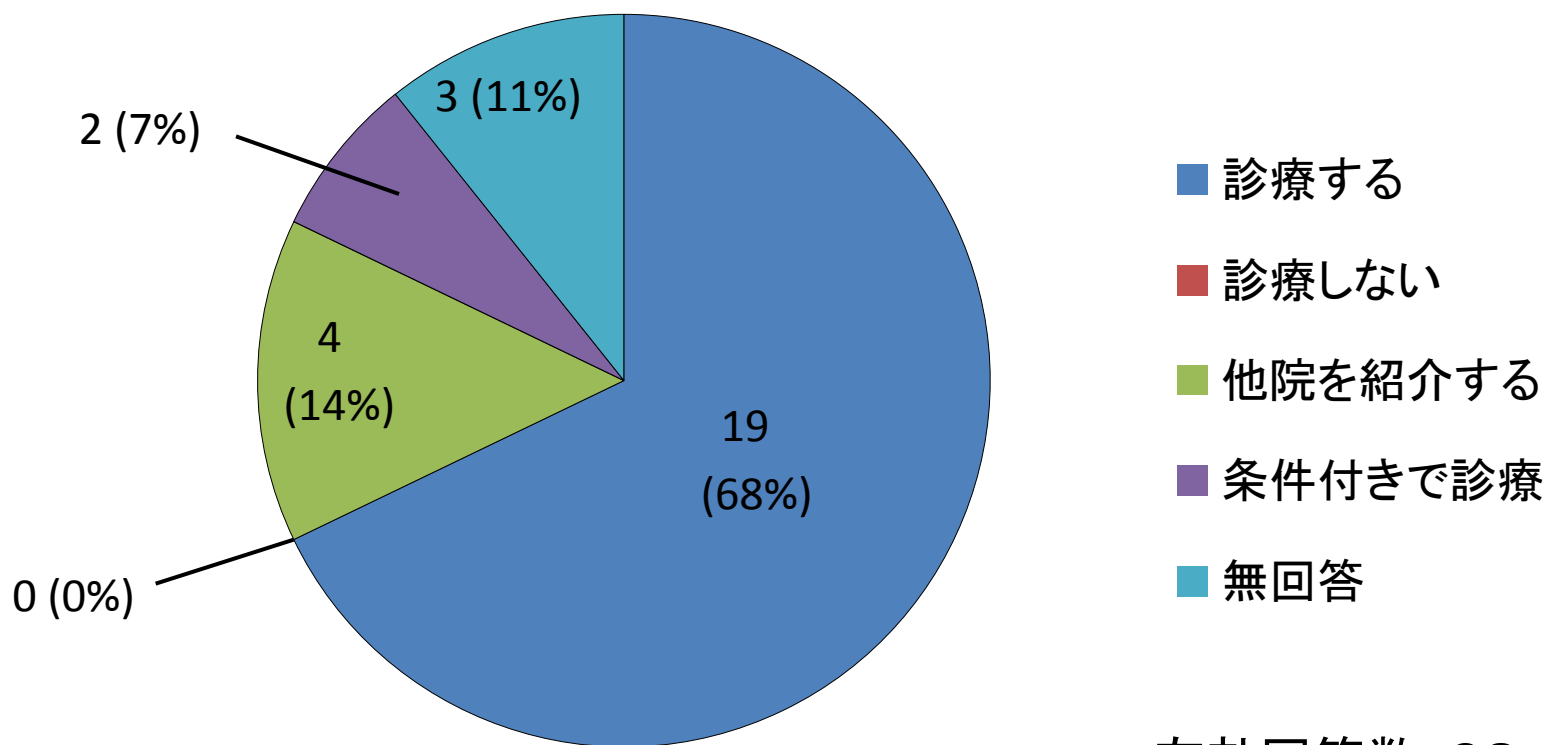
有効回答数: 27

# Q: 過去3年間のHIV陽性者の 歯科治療経験



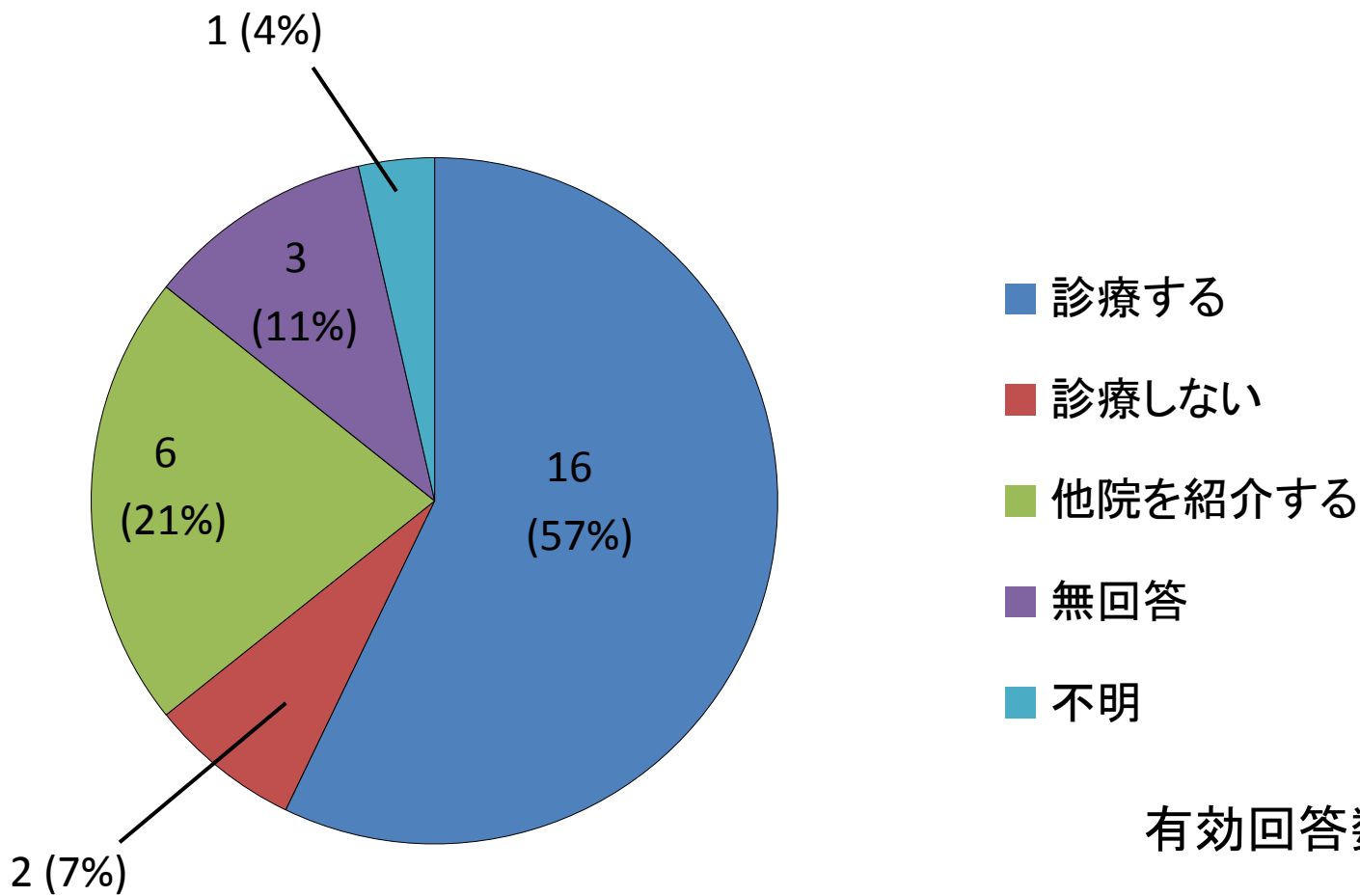
有効回答数: 28

# Q: HIV感染症治療の担当医師からの紹介 状持参でのHIV陽性者歯科治療の可否

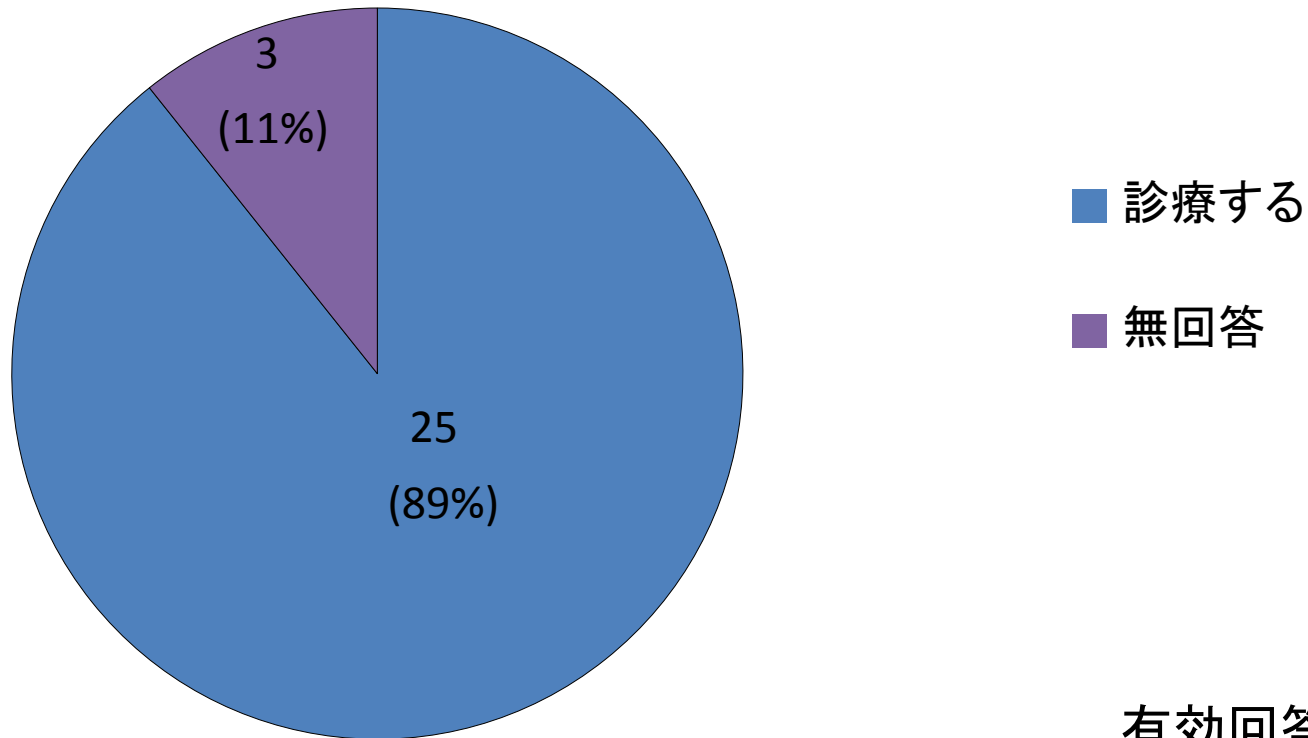


有効回答数: 28

# Q: 紹介状なしでのHIV陽性者 歯科治療の可否



# Q: B型・C型肝炎ウイルス陽性者 歯科治療の可否





# 中国四国ブロックにおけるエイズ対策(歯科)

## HIV歯科医療体制の構築

## HIV感染に対する基礎知識の普及

①ライフスタイルに合わせて、かつ安心して  
歯科診療を受けることのできる体制の確保

②口腔の健康の維持・増進

③HIV感染症の早期発見・拡大予防